

特 殊 報

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿
農業資材販売等関係者

福岡県病虫害防除所長

平成17年度病虫害発生予察特殊報第2号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病虫害発生予察特殊報第2号

- 1 対象作物 トルコギキョウ
- 2 病虫害名 トルコギキョウえそ斑紋病
病原ウイルス：INSV (Impatiens necrotic spot virus)
- 3 発生地域 若宮町 発生面積 4 a



4 特殊報の内容

(1) 発生確認の経緯

平成17年8月上旬に、鞍手郡若宮町の施設栽培のトルコギキョウ（品種：セレモニーピーチ）に葉の輪紋症状の発生が確認され当病虫害防除所にウイルス検定依頼があった。

DAS-ELISA及びRT-PCR法で検定した結果、Impatiens necrotic spot virus (INSV) が確認され、トルコギキョウえそ斑紋病であることが判明した。なお、本県におけるINSVの発生は平成11年にシクラメンで確認されている。

(2) 病徴

主な症状は葉に退緑輪紋及び褐変を示す（写真、、）。これらは、TSWVやIYSVといったその他のトスポウイルスによる症状に類似しているため、病徴のみによる識別は困難である。

(3) 発生生態・伝染方法等

本ウイルスはミカンキイロアザミウマによって媒介される。なお、管理作業による汁液伝染、種子伝染、土壌伝染およびその他の害虫による媒介はしない。

5 防除対策

- (1) 本病の媒介虫であるミカンキイロアザミウマの防除を徹底する。
- (2) 発病株は見つけ次第抜き取り、埋没する等により適切に処分する。
- (3) ほ場周辺の雑草はアザミウマ類の発生やINSVの伝染源になるので、除草を徹底する。
- (4) 施設栽培では防虫ネット(0.6mm目合い以下が望ましい)によりのアザミウマ類の侵入を防ぐ。
- (5) 施設栽培終了後は蒸し込み等を行い、アザミウマ類を死滅させ外部への分散を防ぐ。



写真 : 退緑輪紋症状



写真 : 褐変症状



写真 : ほ場での発生